

後期基本計画基本施策別一覧表

<b>基本施策8 道路網・上下水道の整備・維持</b>	めざす まちの姿	市民が安全で快適に生活でき、地域の産業や交流の活性化につながる道路網、上下水道が整備されたまちをめざします。
-----------------------------	-------------	--

現状	課題	個別施策の方向性 【★】は総合戦略に関連する取組	主な取組	主な取組に対する具体的内容の例示
<p>◇交通需要に配慮した都市計画道路も含めた道路整備や交差点改良、歩道空間の確保等により、安全で快適な道路網の形成に取り組んでいます。</p> <p>◇道路等施設(道路、橋梁、道路構造物、舗装等)の老朽化が進んでおり、長寿命化のための維持・修繕に取り組んでいます。</p> <p>◇国県道等の広域的道路網については、道路改良促進協議会等を通じ他市町合同で整備等の要望活動を行っています。</p> <p>◇施設更新計画に基づく上水道施設の長寿命化や新水源の整備により、安全で良質な飲料水の提供に取り組んでいます。</p> <p>◇下水道処理施設では機器の老朽化によるコスト上昇が懸念され、効率的な機器更新と施設統廃合によるコスト削減が急務となっています。</p>	道路等施設(道路、橋梁、道路構造物、舗装等)の老朽化により、長寿命化対策が必要	① <b>生活道路網の整備・維持</b> 計画的な道路等施設整備を行うとともに、適切な維持管理に取り組みます。	①-1 市道の整備をはじめ、国県とも連携し、計画的かつ効果的な道路整備を推進します。	市道拡幅改良、市道の維持補修、国・県事業との連携事業(県道加美栗線バイパス事業ほか)
	地域の産業や交流の活性化につながる道路網の整備が必要		①-2 橋梁等施設の長寿命化を推進します。	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の点検・修繕を実施
	安全で良質な飲料水の提供が必要	② <b>広域的道路網の整備促進</b> 流通の活性化や交流人口の拡大を図るため、国県に対し積極的に働きかけ、広域的道路網の整備を推進します。	②-1 国県と連携し、計画的な道路整備を推進します。	・安栗市が主体となり、県道にかかる4協議会を通じ、国・県・国会議員・県議会議員へ要望活動を実施 ・事業推進のため事業説明会への同行や用地交渉への協力等を実施 ※4協議会・・・県道路線について要望活動等を行うため、市と自治会等関係者で構成する4つの協議会
	老朽化対策や耐震化対策など、 <b>事業費の抑制を含めた</b> 計画的な施設整備が必要		②-2 近隣市町と連携し、国県道の整備を働きかけます。	・安栗市が加盟する国道・県道にかかる7協議会を通じ近隣市町と連携し、国・県・国会議員・県議会議員へ要望活動を実施 ※7協議会・・・国道、県道について要望活動等を行うため、関係市町村と構成する7つの協議会
	上水道の料金見直しを含めた検討、広域的な水道経営の検討が必要		②-3 中国横断自動車道姫路鳥取線の早期供用開始に向け、促進期同盟会を通じ積極的に働きかけます。	・姫路鳥取線西播磨建設促進期同盟会(5市6町)、中国縦貫自動車道等沿線協議会(13市4町)を通じ、国・県・NEXCO・国会議員・県議会議員への要望活動を実施
	下水道施設の最適化、余剰施設の整理や統合できない施設の処理方式の見直しなどが必要		③ <b>上水道事業の推進</b> 老朽化する施設や管路等の計画的な整備・更新を進めるとともに、経営の合理化・効率化の推進、有収率の向上を図ります。	③-1 安全で良質な飲料水が提供できるよう、水道施設の適正管理に努めます。
		③-2 上水道未接続世帯への普及啓発に努めます。		市広報紙やホームページを活用し、上水道接続の普及啓発を実施
		③-3 老朽化が進む水道施設の <b>長寿命化対策及び更新</b> や、耐震化による改修については、 <b>事業費の抑制及び</b> 標準化を図りながら、計画的な施設整備を推進します。		・上寺浄水場については、新水源の活用を考慮した水運用計画を策定し、施設の更新時期を見据えた耐震化事業に着手する ・緊急に対策が必要である区間の老朽管緊急対策事業を実施
			③-4 水道水の安定供給を図るとともに、 <b>国への財政支援要望及び</b> 料金の見直しなど健全な水道事業運営に向けた取組を検討します。	・水道事業経営審議会により水道事業会計の現状や市が進めるべき計画(経営戦略等)を審議し、健全な運営に向けた取組を検討 ・県主催の水道担当課長会に参加するなど、広域連携による水道基盤強化に向けた取組を検討
			④ <b>下水道事業の推進</b> 施設の適正な管理及び長寿命化対策を進めるとともに、健全な事業運営に向けた経営の合理化・効率化の推進、接続率の向上を図ります。	④-1 下水道処理施設の適正な管理を行い、河川など公有水面の保全に努めます。
		④-2 下水道未接続世帯への普及啓発に努めます。		市広報紙やホームページを活用し、下水道接続の普及啓発を実施
			④-3 施設の統合及び長寿命化対策に取り組むとともに、揖保川流域下水道への接続や、施設規模・処理方式の見直しなどによりランニングコストの圧縮を図り、持続可能な下水道事業を推進します。	統廃合計画に沿った施設の統廃合(揖保川流域下水道への接続含む)及び処理方式の見直しに係る施設改修事業に着手する ※揖保川流域下水道・・・姫路市網干区にある県営の広域下水処理施設

まちづくり指標	指標名	単位	現状値(R1実績)	目標値(R8)	数値の把握方法	目標値設定の考え方
	道路(市道)改良率	%	60.6	61.3	市道台帳(年度末) (改良済実延長÷総実延長)	道路網の整備は今後も継続して行っていく必要があるが、限りある財源の中で必要な整備を効果的に取り組むことを基本に、1年あたり0.1%の増加を目標とする。
	水道の有収率	%/年	85.1	86.4	年間総有収水量÷年間総配水量	市域が広く管路延長が非常に長いことから給水効率が非効率であるため、今後も大幅な上昇は困難であるが、普及啓発に努めることにより、前期計画における基準値から1年あたり0.1%の増加を目標とする。
	経常収支比率(上水道)	%/年	94.1	100以上	経常収益÷経常費用	長期的にこの数値が100%以上であれば黒字であるため、100%以上を目標とする。
	下水道接続率	%/年	94.9	96.3	下水道使用人口÷処理区域内人口	最終的な目標は100%であるが、高齢者世帯の増加や低所得世帯などの経済的事情も勘案し、令和8年度の目標値を96.3%とし、令和元年度実績から年間0.2%の増加を目標とする。
	料金回収率(下水道)	%/年	55.7	57.5	料金収益÷(営業費用+営業外費用)	数値が高いほど料金回収率が良好であるが、下水道整備時に要した費用の起債償還金利息も高いため、前期計画における基準値から1年あたり0.5%の増加を目標とする。

	計画名	計画期間
個別 連 計 画	兵庫県(西播磨地域)社会基盤整備プログラム	R1～R10
	宍粟市橋梁長寿命化修繕計画	R1～
	宍粟市水道ビジョン	R2～R11
	公共下水道ストックマネジメント	R1～R10
	農業集落排水最適整備構想	H25～R4
	宍粟市下水道施設統廃合計画	R3～R27

統計等数値
<p>●市道整備状況</p> <p>実延長(m) : (H26)586,744、(H27)587,012、(H28)589,038、(H29)589,403、(H30)589,713</p> <p>改良済実延長(m) : (H26)300,798、(H27)349,982、(H28)353,475、(H29)354,269、(H30)356,091</p> <p>改良率(%) : (H26)59.6、(H27)60.0、(H28)60.1、(H29)60.4、(H30)60.5</p> <p>舗装済延長(m) : (H26)505,387、(H27)504,964、(H28)507,005、(H29)509,100、(H30)511,537</p> <p>舗装率(%) : (H26)86.1、(H27)86.0、(H28)86.1、(H29)86.4、(H30)86.7</p> <p>●(H31)上水道普及率(%) : 98.8</p> <p>●有収率(%) : (H26)85.2、(H27)84.3、(H28)85.8、(H29)85.5、(H30)85.5</p> <p>●(H31)汚水処理人口普及率(%) : 100.0</p>